

「スワンデー」市民にアピール

毎月22日 職員禁煙日

パンフレットなどを設置した禁煙の日のPRブース



苫小牧市は、毎月22日の禁煙の日を市民にPRするブースを市役所2階姉妹都市・国際友好都市プラザで22日まで開いている。

禁煙の日は、日本肺がん学会など医学系30学会で組織する禁煙推進学術ネットワーク（東京）が2010年2月22日に制定した。

市は健康的な労働環境を築こうと、すべての市職員を対象とした禁煙の日「スワンデー」を今月から毎月22日の勤務時間に実施。市民が望まない受動喫煙を防止するため、19年度に受動喫煙防止

対策ガイドラインや受動喫煙防止条例の策定を進めている。

ブースでは、禁煙の日をPRするパンフレットやチラシを置いており、自由に持ち帰り可能。市内宮の森町の大垣直美さん（61）は「タバコは個人の嗜好（しこう）だが、職場や公共の場では周囲の迷惑になるのでマナーが必要」と話した。

市健康支援課は「健康づくりの一環として禁煙は重要。ぜひ意識を高めてほしい」とアピールしている。